

作成者：川崎凜
作成日：9月7日

皆様、初めまして。この度、2026年度の福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学させていただいております、川崎凜と申します。出発からこれまでの約1ヶ月間、温かいサポートと貴重な機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

昨今の国際情勢が刻々と変化する中、福井県からこうして海を越えて学びの場をいただけたことの重みとありがたさを日々噛みしめております。皆様の期待に応え、この9ヶ月間の留学を実りある有意義なものにするため、一日一日を大切に挑戦し続けます。まずは、この8月の現地の様子についてご報告いたします。

【自己紹介】

私は福井県福井市出身で、現在大阪大学外国語学部でデンマーク語を専攻しています。今回の留学が、人生で初めての海外経験です。

私が大学でデンマーク語を選んだのは、教育先進国かつ幸福度上位である国の社会構造や福祉、特に教育をその言語から深く学びたかったからです。3年生となり、現在はゼミで卒業論文に向けたデンマークの教育制度についての調査を進めています。

そんな私が今回、あえてアメリカへの留学を決意した最大の理由は、世界的な大国において国際的な視野と確かな英語力を養いたかったからです。また、多様なバックグラウンドを持つ人々と議論を交わしながら、アメリカの教育についても英語で直接学びたいという強い思いがありました。将来の夢は、高校の英語教師になることです。意見交流が盛んなこの環境で、多様な価値観に触れ、自分の意見を何度も形成し直し、それを英語で豊かに表現する力や批判的思考力、コミュニケーション力をこの9ヶ月間で磨き上げたいと考えています。

【フィンドレー大学での生活】

フィンドレーは、福井県出身の私にとって非常に馴染みやすく、のんびりと過ごしやすい街です。治安が良く安心して暮らせる一方、田舎町なので近くにスーパーがない多少の不便さはありますが、車で5分ほどのところに大型スーパー（Walmart）やアジアンスーパーがあり、車を持つ友人がよく連れて行ってくれるのでとても助かっています。

渡航前は友達ができるか本当に心配でしたが、今では留学生3人と日本人3人の温かい仲良しグループができました。毎日一緒にご飯を食べたり週末に出かけたりと、非常に充実した時間を過ごしています。

また、この大学の素晴らしい魅力は、日本との強い繋がりだと感じます。日本語を学ぶ学生との交流が多いだけでなく、日本に興味を持つ学生が多く、自然と打ち解けられます。大学に日本人の先生方がいらっしゃり、あらゆる場面で親身になってサポートしてくださることも、心から安心できる大きな理由です。

当初は「自分の成長のために、あえて日本人がいない環境の方が良いのでは」と考えていました。しかし実際に飛び込んでみると、日本人仲間がいることによる学びやご縁、そして何よりの安心感という大きな恩恵に気づかされました。もちろん日本人だけで固まっていたは意味がありませんが、外国人のグループの中に日本人がいることで、自分の拙い



英語が伝わらなかった時に日本人仲間で英語で補ってくれたり、お互いに助け合ったりしながら、経験を分かち合う楽しさとありがたさを日々実感しています。

大学全体が持つウェルカムな雰囲気もとても温かく、特に授業開始前の1週間はイベントが盛りだくさんでした。新入生が友達を作りやすいよう工夫されたプログラムのおかげで毎日新しい出会いがあり、その関係はその日限りではなく、今でも続いています。この1ヶ月間で私が学んだ最も大切なことは、「自分の小さな一步の挑戦から生まれたご縁が、あらゆる形で繋がり、今の自分を作っている」ということです。

【授業】

私は学部生として教育学部に所属しています。最大限の学びを吸収するため、この秋冬学期はまず英語力の強化に専念し、春夏学期に本格的な教育学の専門授業を多く履修する計画で臨んでいます。

今学期は以下の科目を履修しています。

- Child Welfare
- Japanese Film
- Cross-Cultural Communication
- Genki Kids
- 留学生向けの Writing Review
- 留学生向けの Academic Literacy



どの授業でも自分の英語力の至らなさや壁を痛感し、落ち込んだり苦しんだりする日々の連続です。しかし、熱心で優しい先生方と周りの学生たちに恵まれ、毎日多くの刺激と新しい知識を吸収しています。各授業の詳細につきましては、次月のレポートにて改めてご報告いたします。

【Japanese Festival】

8 月の中で最も印象に残っているのが、日本人留学生が主体となって開催した Japanese Festival です。私にとって忘れられない最高の思い出となりました。岡山理科大学や福井大学からも約 10 名の学生さんが短期で来られており、一緒にイベントを盛り上げました。企画の立ち上げからブースの準備、当日の運営まで、すべて自分たちで行いました。

会場には以下のブースを設置しました。

- 書道
- 日本のゲーム（輪投げ、けん玉、割り箸鉄砲等）
- おにぎり
- 折り紙
- 浴衣
- 箸での豆移し
- 全体企画（大縄跳び、クイズ大会）



私はおにぎりブースを担当し、海苔、鮭ふりかけ、ごましお、シーチキンを用意しました。本番前は緊張でいっぱいでしたが、当日は想像をはるかに超える大盛況となり、文化を通じて人と人が繋がる楽しさを全身で実感しました。オリエンテーション期間以来なかなか会えなかった友達にも声をかけたところ、全員が喜んで駆けつけてくれたことは本当に嬉しかったです。

拙い英語でも一生懸命伝えようとして伝わった瞬間の喜びや、みんなで笑顔を共有する幸福感、「美味しい！楽しかった！ありがとう！」と言ってもらえたときのやりがいなど、すべての瞬間が宝物です。

中でも嬉しかったのは、来てくれたハウスメイトがこのイベントでおにぎり作りを気に入ってくれて、後日自分でご飯を炊いておにぎりを作った様子を見せに来てくれたことです。これまでの準備の苦勞がすべて報われたような、胸がいっぱいになる瞬間でした。本当に素敵な経験になりました。



【終わりに】

最後までお読みいただき、ありがとうございました。この 1 ヶ月間を振り返ると、大変なこともたくさんありましたが、毎日本当に刺激に満ちており、かけがえのない思い出となっています。留学生活はまだ始まったばかりですが、支えてくださる方々への感謝と、福井県奨学生としての誇りを胸に、初心を忘れず、一日一日をより有意義なものにできるよう、主体的に努力してまいります。本報告書についてご質問やお問い合わせ等がございましたら、以下のメールアドレスまでお気軽にご連絡ください。

連絡先：kawasakir@findlay.edu